

### 第3章 食肉販売店の仕入動向

#### － 要 約 －

- 平成 20 年 10 月 1 ヶ月間における 1 店当たり仕入量は、「牛肉」586kg、「豚肉」1,141kg、「鶏肉」895kg である。
- 食肉の仕入構成は、「豚肉」55.7%、「牛肉」28.0%、「鶏肉」16.3%である。「百貨店」と「食肉専門店」では「牛肉」の仕入構成比が高い。
- 地域別では、「近畿」、「中国」で「牛肉」の仕入量が高く、「関東」、「北陸」、「東海」では「豚肉」の仕入量が多い。
- 仕入時に重視する項目は、「価格」、「肉色」、「産地」である。「百貨店」では、「産地」をより重視している。また、輸入牛肉・豚肉では、より価格を重視する傾向が強い。

#### 1. 食肉の肉種別仕入構成と仕入量(平成 20 年 10 月分)

##### 1. 1. 肉種別仕入構成と仕入量

##### 1. 1. 1. 肉種別仕入構成

#### ● 1店当たりの仕入量は、牛肉 586kg、豚肉 1,141kg、鶏肉 895kg

平成 20 年 10 月 1 ヶ月間の 1 店当たり仕入量は合計で 1,952kg であり、前年と比べると△1,372kg と大幅に減少している。仕入量が減少した要因の一つとしては、回答者に占める「食肉専門店」の比率が前回に比べ高くなったことが挙げられる。前回調査では、「食肉専門店」の回答者に占める比率が 46.3%であったのに対して、今回は 53.4%に増えている。さらに「百貨店」や「総合スーパー」の比率が下がっていることにより全体として小規模店の回答が比率が高まり、1 店当たり仕入量が下がっているものと考えられる。また、「表 3-2 肉種別・業態別仕入構成比と仕入量」で示すとおり、「総合スーパー」の仕入量が減少したことも要因の一つとして挙げられる。

仕入構成を見ると、牛肉が 28.0%、豚肉が 55.7%、鶏肉が 16.3%となっており、構成比に関しては前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図 3-1 肉種別仕入構成比(平成 20 年 10 月分)

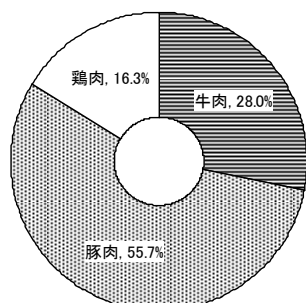


表 3-1 肉種別仕入構成比

	回答数	1店当り仕入数	構成比
【総数】	475	1,952	100.0%
牛肉	443	586	28.0%
豚肉	453	1,141	55.7%
鶏肉	169	895	16.3%

肉種別に回答店舗数が異なるため、肉種別仕入量を合計しても総仕入量とは一致しない。

### 1. 1. 2. 肉種別・業態別仕入構成

#### ● 前回調査に比べ全ての業態において仕入量が減少している

全ての業態において、前回調査よりも仕入量が減少している。「食品スーパー」では、2年連続で仕入量が減少しており、平成18年調査時の5,499kgから今回調査では3,757kgにまで減少している。

「総合スーパー」の仕入量が7,273kgと大幅に減少しているが、過去調査においても平成18年から平成19年調査にかけて4,185kgも急増しており、集計結果の変動が大きい。今回調査では、回答者数が11件と少ないため、特定の回答結果に影響を受けている可能性も考えられるが、総合スーパーという一つの業態の中でも、運営方法や規模にバラツキがあることが結果に現れているものと考えられる。

#### ● 「百貨店」、「食肉専門店」では牛肉の仕入比率が高い

肉種別の仕入構成比を見ると、「百貨店」と「食肉専門店」では他業態に比べ「牛肉」の仕入比率が高い。全体における「牛肉」の仕入比率は28.0%なのに対して、「百貨店」では41.3%、「食肉専門店」では33.2%となっている。但し、どちらも平成18年調査時に比べると「牛肉」の仕入構成比は低下している。

表 3-2 肉種別・業態別仕入構成比と仕入量

		回答店舗数	1店当り 仕入量(kg)	牛肉	豚肉	鶏肉
【百貨店】	H18	29	3,805	49.4	36.0	14.6
	H19	48	3,998	41.8	42.3	15.8
	H20	15	3,475	41.3	46.8	11.9
【総合スーパー】	H18	51	5,375	28.8	52.3	18.9
	H19	62	9,560	19.3	67.6	13.1
	H20	11	2,287	26.1	60.6	13.3
【食品スーパー】	H18	165	5,499	26.1	58.8	15.1
	H19	198	4,674	24.1	59.1	16.8
	H20	153	3,757	24.7	56.6	18.7
【農協・生協ストア】	H18	23	1,976	31.3	55.2	13.5
	H19	46	2,580	31.3	50.3	18.4
	H20	16	1,325	21.4	64.7	13.8
【食肉専門店】	H18	338	1,446	35.0	57.6	7.4
	H19	347	1,444	37.9	52.8	9.2
	H20	270	922	33.2	54.3	12.5
【その他】	H18	-	-	-	-	-
	H19	-	-	-	-	-
	H20	9	564	44.0	52.7	3.3

図 3-2 肉種別・業態別仕入構成比

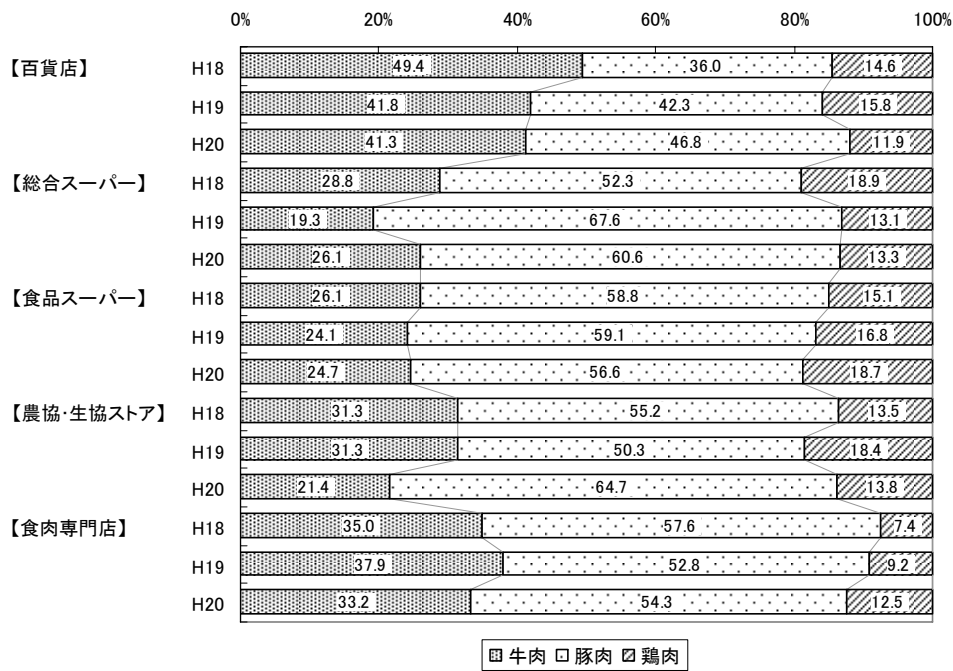
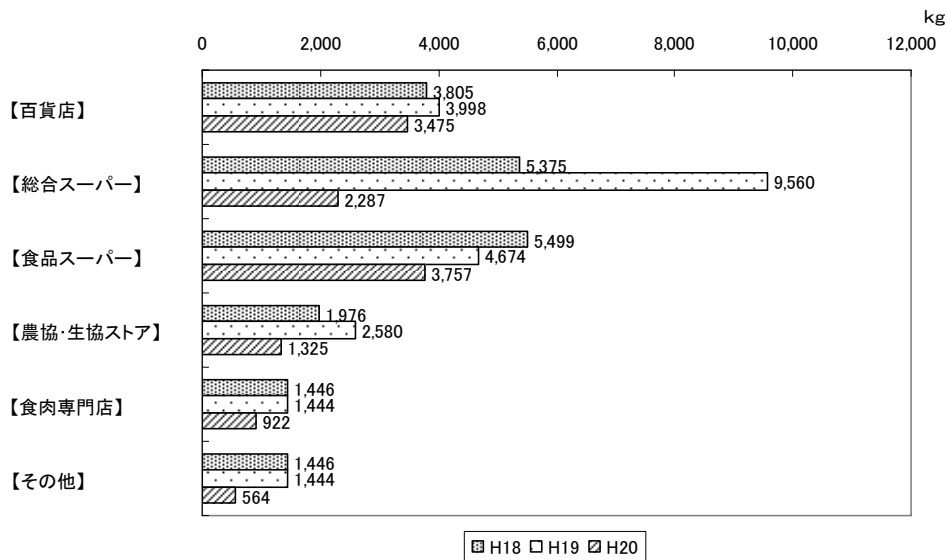


図 3-3 業態別 1 店当たり食肉仕入量



### 1. 1. 3. 地域別仕入構成

● 「近畿」、「中国」では「牛肉」の仕入量が多く、「関東」、「北陸」、「東海」では豚肉の仕入量が多い

「近畿」、「中国」は他地域に比べ「牛肉」の仕入比率が高い。「近畿」では「牛肉」の仕入比率が 49.6%と約半数を占めており、「中国」でも 42.1%を占めている。

豚肉の仕入比率が高い地域は、「関東」、「北陸」、「東海」であり、それぞれ 66.2%、60.6%、60.6%となっている。

● 「東海」の仕入量が多く、「四国」の仕入量が少ない、全体的には 2,000(kg/店)前後で分布している

「近畿」、「中国」は他地域に比べ「牛肉」の仕入比率が高い。「近畿」では「牛肉」の仕入比率が 49.6%と約半数を占めており、「中国」でも 42.1%を占めている。

豚肉の仕入比率が高い地域は、「関東」、「北陸」、「東海」であり、それぞれ 66.2%、60.6%、60.6%となっている。

表 3-3 地域別・肉種別 1 店当たり食肉仕入構成比および仕入量

		回答店舗数	1店当り 仕入量(kg)	牛肉	豚肉	鶏肉
北海道	H18	23	2,775	18.2	61.9	19.9
	H19	27	2,232	19.0	70.9	10.1
	H20	21	1,994	17.8	53.9	28.3
東北	H18	47	4,252	32.1	64.8	3.1
	H19	73	3,638	21.9	66.4	11.7
	H20	42	1,960	22.3	53.6	24.2
関東	H18	185	3,413	26.7	60.5	12.8
	H19	218	4,478	22.1	64.3	13.6
	H20	138	1,746	21.2	66.2	12.7
北陸	H18	37	3,481	17.1	74.6	8.3
	H19	32	3,195	29.2	52.4	18.4
	H20	55	1,721	24.8	60.6	14.5
東海	H18	85	3,269	27.7	55.1	17.2
	H19	110	3,137	26.1	58.5	15.3
	H20	49	3,100	20.5	60.6	18.9
近畿	H18	85	2,615	45.9	39.4	14.7
	H19	84	2,543	51.3	39.5	9.3
	H20	56	2,281	49.6	39.6	10.8
中国	H18	43	2,926	33.9	47.5	18.6
	H19	48	2,897	36.4	47.2	16.4
	H20	28	1,965	42.1	42.9	15.0
四国	H18	23	2,319	44.0	39.8	16.2
	H19	19	1,886	51.0	36.6	12.3
	H20	9	1,193	40.1	42.5	17.3
九州・沖縄	H18	78	1,576	35.8	44.5	19.7
	H19	89	2,050	32.2	43.9	23.9
	H20	46	1,907	28.6	47.4	24.0

図 3-4 地域別・肉種別 1 店当たり食肉仕入量

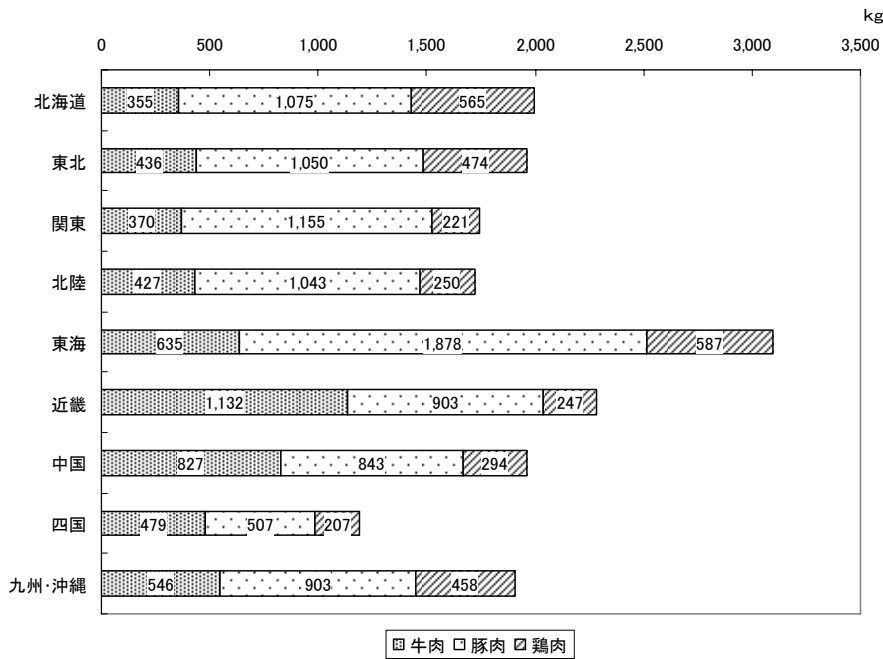
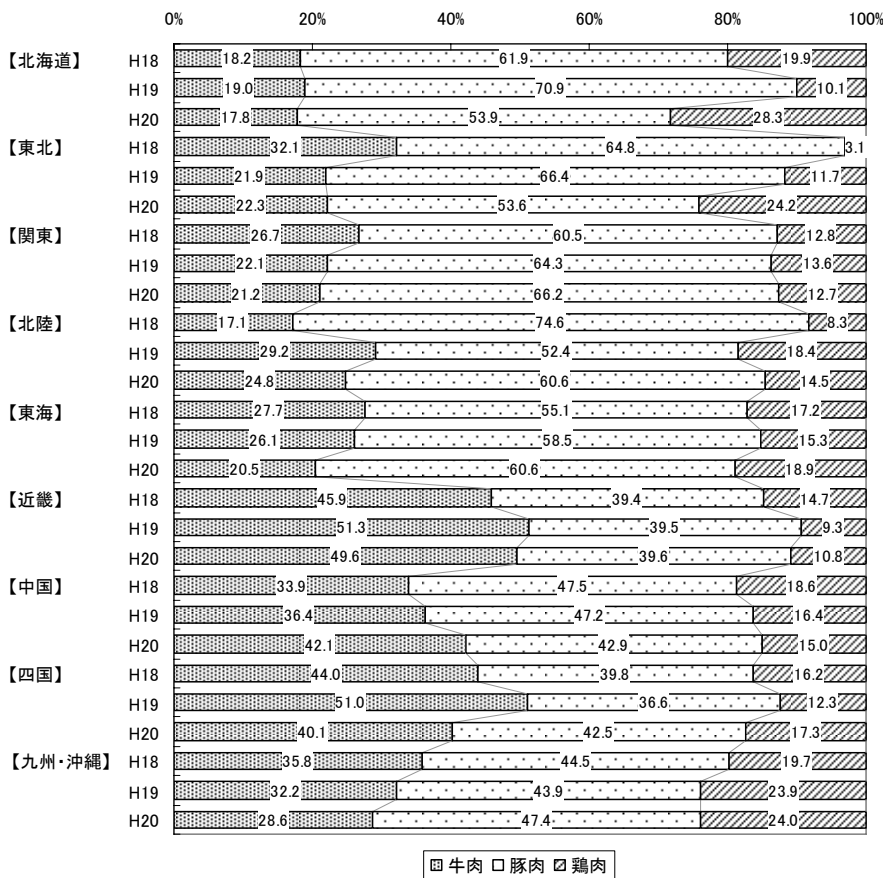


図 3-5 地域別・肉種別仕入構成比(平成 20 年 10 月)



## 2. 牛肉仕入構成と仕入量(平成 20 年 10 月分)

### 2. 1. 牛肉の仕入構成

#### ● 国産牛肉全体の比率は 81.4%、「和牛肉」だけで 41.4%を占める

牛肉の1店当たり仕入量は586kgであり、そのうち81.4%を国産牛肉(「和牛肉」、「国産牛肉乳用種」、「国産牛肉交雑種」、「その他国産牛肉」の合計)が占め、残りの18.6%が輸入牛肉である。

品種別では、「和牛肉」が41.4%を占め、次いで「国産牛肉交雑種」の24.1%、「国産牛肉乳用種」の15.0%となっている。

業態別で見ると、仕入構成が若干異なる。「百貨店」と「食肉専門店」は「和牛肉」の構成比が高くなっており、それぞれ58.2%、57.7%と仕入量の半数以上が「和牛肉」となっている。「総合スーパー」と「食品スーパー」は、全体平均に比べ輸入牛肉の比率が高く、特に「豪州産牛肉」は、「総合スーパー」で20.8%、「食品スーパー」17.8%となっている。

#### ● 「近畿」、「中国」、「四国」で国産牛肉の比率が高く、「関東」と「東海」では輸入牛肉の比率が高い

地域によって品種の仕入構成に特徴が見られる。「近畿」、「中国」、「四国」では、国産牛肉の比率が高く、それぞれ87.8%、89.3%、96.1%となっている。一方、「関東」と「東海」では輸入牛肉の仕入構成比が高く、「関東」が29.8%、「東海」21.5%である。特に、「関東」で「豪州産牛肉」の比率が高く26.2%となっている。

表 3-4 牛肉の品種別仕入構成(平成 20 年 10 月)

	回答 店舗数	仕入量 /店(kg)	和牛肉	国産 乳用種	国産 交雑種	その他 国産牛肉	米国産 牛肉	豪州産 牛肉	その他 輸入牛
【総数】	443	586	41.4	15.0	24.1	0.9	3.3	14.4	0.8
業態別	百貨店	15	1,435	58.2	3.8	28.0	0.0	0.0	0.0
	総合スーパー	11	597	30.1	21.2	25.2	0.0	20.8	0.0
	食品スーパー	151	940	31.0	21.3	23.4	1.1	17.8	1.4
	農協・生協ストア	14	325	19.2	37.2	35.4	4.7	3.5	0.0
	食肉専門店	243	340	57.7	6.0	24.1	0.6	9.0	0.2
	その他	8	279	18.4	0.9	4.1	0.9	42.1	0.0
地域別	北海道	21	355	37.9	13.1	10.3	0.1	19.5	0.9
	東北	38	482	44.2	8.6	27.0	0.3	12.1	2.9
	関東	121	421	31.2	8.4	28.2	2.4	26.2	0.9
	北陸	48	490	23.8	46.1	19.5	2.0	6.8	0.2
	東海	49	635	43.0	15.6	19.9	0.0	16.6	0.1
	近畿	56	1,132	56.4	10.6	20.8	0.0	9.1	0.2
	中国	28	827	41.4	21.2	26.7	0.0	7.7	1.6
	四国	9	479	31.6	22.3	42.0	0.2	3.7	0.2
	九州・沖縄	46	546	48.4	11.8	19.1	2.1	14.2	1.5

● 国内産牛肉の仕入構成比が 2.7 ポイント上昇、「豪州産牛肉」の仕入比率が減少

国産牛肉の比率は、昨年調査の 78.7%から 2.7 ポイント上昇している。

輸入牛肉では、「豪州産牛肉」の仕入構成比が昨年調査の 18.8%から 14.4%と 4.4 ポイント減少した。「米国産牛肉」は 1.5 ポイント増えている。

図 3-6 牛肉の品種別仕入構成推移(全体)

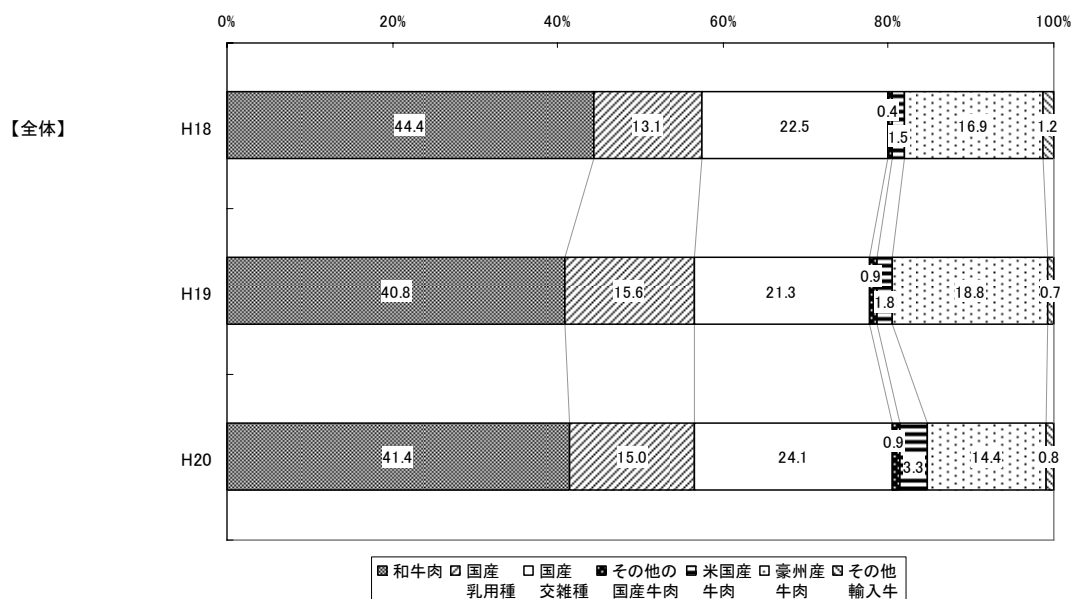


表 3-5 業種別・品種別牛肉の仕入構成推移

	回答店舗数	仕入量/店(kg)	和牛肉	国産乳用種	国産交雑種	その他の国産牛肉	米国産牛肉	豪州産牛肉	その他輸入牛	
【全体】	H18	568	978	44.4	13.1	22.5	0.4	1.5	16.9	1.2
	H19	663	973	40.8	15.6	21.3	0.9	1.8	18.8	0.7
	H20	443	586	41.4	15.0	24.1	0.9	3.3	14.4	0.8
【百貨店】	H18	29	1,879	63.5	11.1	16.8	0.1	-	7.9	0.7
	H19	48	1,673	53.4	10.6	24.3	2.5	0.2	8.9	0.1
	H20	15	1,435	58.2	3.8	28.0	0.0	0.0	10.0	0.0
【総合スーパー】	H18	51	1,547	16.9	12.9	32.7	0.3	-	35.9	1.2
	H19	61	1,873	26.5	18.0	9.0	1.2	4.0	41.0	0.3
	H20	11	597	30.1	21.2	25.2	0.0	2.7	20.8	0.0
【食品スーパー】	H18	162	1,460	33.5	19.1	25.3	0.3	1.4	19.3	1.1
	H19	193	1,158	25.0	21.3	26.3	0.6	2.4	23.1	1.2
	H20	151	940	31.0	21.3	23.4	1.1	4.0	17.8	1.4
【農協・生協ストア】	H18	22	647	40.5	18.7	24.9	-	-	9.7	6.2
	H19	45	827	56.0	18.8	17.2	1.1	-	5.3	1.6
	H20	14	325	19.2	37.2	35.4	4.7	0.0	3.5	0.0
【食肉専門店】	H18	304	564	66.3	4.9	15.4	0.8	3.1	8.5	1.0
	H19	316	601	59.6	9.0	22.3	0.3	0.9	7.3	0.6
	H20	243	340	57.7	6.0	24.1	0.6	2.4	9.0	0.2
【その他】	H18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H20	8	279	18.4	0.9	4.1	0.9	33.6	42.1	0.0



## 2. 2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

商品別の平均仕入量は、当該商品の仕入実績のある店における仕入量の平均で算出している。「表 3-4 牛肉の品種別仕入構成」は、牛肉の仕入実績のある店における仕入量平均であるため、本章の算出結果とは一致しない。

### 2. 2. 1. 和牛肉

- 「和牛肉」の平均仕入量は 309kg、「枝肉」27.7%、「部分肉セット」37.4%、「部分肉パーツ」34.4%

「和牛肉」の平均仕入量は 309kg であり、昨年度調査より 163kg と大幅に減少している。業態別では、「百貨店」が 834kg と他業態より仕入量が多く、次いで「食品スーパー」の 361kg となっている。

形態別仕入構成は、「枝肉」が 27.7%、「部分肉セット」が 37.4%、「部分肉パーツ」が 34.4%である。

図 3-7 「和牛肉」の形態別仕入構成比

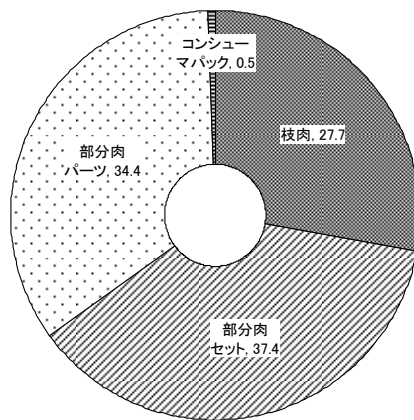


表 3-6 和牛肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量/店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	348	309	27.7	37.4	34.4	0.5	
業態別	百貨店	15	834	17.7	32.7	49.6	0.0
	総合スーパー	9	219	11.5	61.3	27.2	0.0
	食品スーパー	122	361	21.4	41.3	36.3	1.0
	農協・生協ストア	6	145	50.0	42.3	6.7	1.1
	食肉専門店	190	251	37.4	33.5	29.0	0.1
	その他	5	82	0.0	80.5	19.5	0.0
地域別	北海道	14	202	0.0	33.6	64.2	2.1
	東北	27	300	47.1	29.8	22.3	0.9
	関東	101	158	4.4	44.5	49.8	1.3
	北陸	34	165	32.1	52.3	15.6	0.0
	東海	37	362	34.0	17.1	48.9	0.0
	近畿	53	674	45.1	27.8	26.6	0.5
	中国	20	479	20.8	44.6	34.6	0.0
	四国	6	227	5.3	67.7	27.1	0.0
	九州・沖縄	38	320	8.4	65.7	25.9	0.1

※「枝肉」は部分肉ベース(歩留率 70%)で換算して算出。

## 2. 2. 2. 国産牛肉乳用種

- 「国産牛肉乳用種」の平均仕入量は 247kg、「部分肉パーツ」46.8%、「部分肉セット」31.8%

「国産牛肉乳用種」の平均仕入量は 247kg で、「和牛肉」と同様に昨年度調査より 103kg 減少している。

形態別仕入構成を見ると、「部分肉パーツ」が最も高く 46.8%、次いで「部分肉セット」の 31.8%となっている。

図 3-8 「国産牛肉乳用種」の形態別仕入構成比

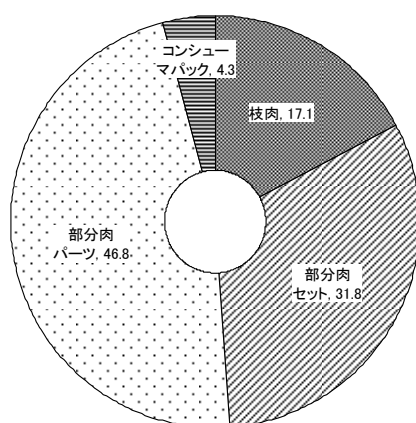


表 3-7 国産牛肉乳用種の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量/店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	158	247	17.1	31.8	46.8	4.3	
業態別	百貨店	4	202	0.0	81.4	18.6	0.0
	総合スーパー	6	232	0.0	77.7	8.8	13.5
	食品スーパー	85	355	18.0	28.6	49.3	4.0
	農協・生協ストア	8	211	0.0	60.1	27.9	12.0
	食肉専門店	54	91	26.2	17.7	55.0	1.1
	その他	1	20	0.0	100.0	0.0	0.0
地域別	北海道	11	89	15.2	10.9	54.3	19.6
	東北	15	105	0.0	28.5	69.8	1.7
	関東	33	129	20.1	27.0	34.6	18.2
	北陸	22	493	32.0	38.6	27.4	2.1
	東海	16	303	5.0	16.2	78.5	0.3
	近畿	16	420	29.0	35.9	26.4	8.7
	中国	15	328	0.0	25.2	74.8	0.0
	四国	6	160	34.6	51.9	13.6	0.0
	九州・沖縄	17	174	0.0	44.7	55.3	0.0

※「枝肉」は部分肉ベース(歩留率 70%)で換算して算出。

### 2. 2. 3. 国産牛肉交雑種

- 「国産牛肉交雑種」の平均仕入量は70kg、「部分肉パーツ」45.2%、「部分肉セット」36.3%

「国産牛肉交雑種」の平均仕入量は70kgである。業態別では、「食品スーパー」における仕入量が全体平均の2倍にあたる144kgである。形態別では、「部分肉パーツ」が45.2%、「部分肉セット」が36.3%であり、全体の比率は「国産牛肉乳用種」と類似している。

地域別では、「中国」の平均仕入量が226kgと突出しており、逆に「関東」は30kgと最も少ない。

図 3-9 「国産牛肉交雑種」の形態別仕入構成比

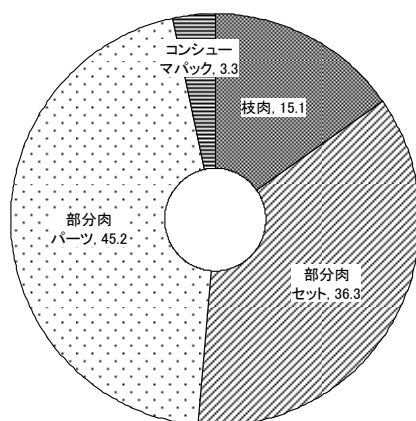


表 3-8 国産牛肉交雑種の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量/店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	284	70	15.1	36.3	45.2	3.3	
業態別	百貨店	10	81	0.0	35.8	64.2	0.0
	総合スーパー	6	49	17.6	62.4	20.0	0.0
	食品スーパー	108	144	15.2	42.5	36.4	5.9
	農協・生協ストア	8	70	54.2	4.6	39.7	1.5
	食肉専門店	147	18	17.2	26.4	56.0	0.4
	その他	4	5	0.0	62.5	31.3	6.3
地域別	北海道	10	55	19.7	7.0	45.1	28.2
	東北	20	76	2.9	34.1	62.9	0.1
	関東	83	30	2.5	34.8	59.2	3.6
	北陸	30	108	16.8	32.3	50.4	0.5
	東海	31	52	11.7	29.4	48.3	10.6
	近畿	27	49	19.3	59.8	16.2	4.7
	中国	21	226	24.8	12.2	62.9	0.1
	四国	8	108	15.8	59.0	25.2	0.0
九州・沖縄	32	82	13.9	38.9	47.1	0.0	

※「枝肉」は部分肉ベース(歩留率70%)で換算して算出。

## 2. 2. 4. 米国産牛肉

### ● 「米国産牛肉」の平均仕入量は 110kg、主に「食品スーパー」が「部分肉パーツ」として仕入れている

「米国産牛肉」の平均仕入量は 110kg である。主に「食品スーパー」が「部分肉パーツ」として仕入れており、平均仕入量 140kg のうち 78.3%が「部分肉パーツ」である。全体でも「部分肉パーツ」が 69.5%と圧倒的に高くなっている。

「農協・生協ストア」は昨年調査と同様に仕入実績がなく、「百貨店」における仕入実績も 1 件と少ない。

図 3-10 「米国産牛肉」の形態別仕入構成比

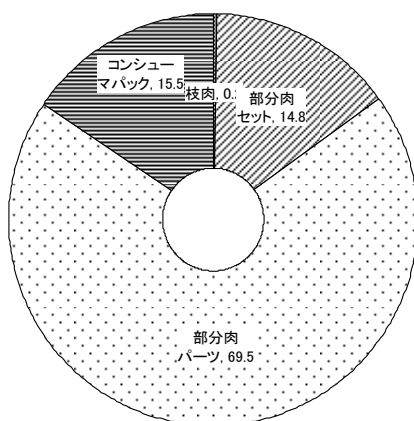


表 3-9 米国産牛肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量/店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	78	110	0.2	14.8	69.5	15.5	
業態別	百貨店	1	10	0.0	0.0	100.0	0.0
	総合スーパー	5	36	0.0	0.0	51.6	48.4
	食品スーパー	40	141	0.0	0.0	78.3	21.7
	農協・生協ストア	0	0	-	-	-	-
	食肉専門店	29	70	0.7	27.5	69.7	2.1
	その他	2	375	0.0	100.0	0.0	0.0
地域別	北海道	9	149	0.0	17.6	68.0	14.4
	東北	13	69	0.0	0.0	99.6	0.4
	関東	12	119	0.0	0.0	76.1	23.9
	北陸	6	64	0.0	68.1	31.9	0.0
	東海	15	99	1.0	0.0	82.3	16.7
	近畿	6	315	0.0	37.1	39.7	23.2
	中国	4	81	0.0	0.0	100.0	0.0
	四国	0	80	-	-	-	-
九州・沖縄	9	36	0.0	15.2	84.8	0.0	

※「枝肉」は部分肉ベース(歩留率 70%)で換算して算出。

## 2. 2. 5. 豪州産牛肉

### ● 「豪州産牛肉」の平均仕入量は 209kg、「部分肉パーツ」が 79.4%を占める

「豪州産牛肉」の平均仕入量は 209kg で、「部分肉パーツ」での仕入れが 79.4%と圧倒的に多い。「米国産牛肉」とは異なり、「百貨店」や「農協・生協ストア」でも仕入実績がある。

地域別では、「近畿」の仕入量が最も多く 303kg、次いで「関東」の 278kg となっている。

図 3-11 「豪州産牛肉」の形態別仕入構成比

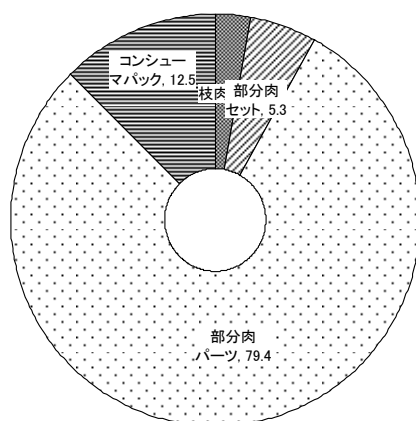


表 3-10 豪州産牛肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量 /店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	179	209	2.7	5.3	79.4	12.5	
業態別	百貨店	5	430	0.0	0.0	98.6	1.4
	総合スーパー	6	227	0.0	0.0	68.7	31.3
	食品スーパー	99	255	3.9	4.2	75.0	16.9
	農協・生協ストア	2	80	0.0	0.0	100.0	0.0
	食肉専門店	63	119	0.2	10.3	87.5	2.0
	その他	3	313	0.0	13.0	87.0	0.0
地域別	北海道	9	162	0.0	4.1	65.0	30.9
	東北	16	139	0.0	3.6	96.4	0.0
	関東	48	278	6.7	1.5	80.4	11.4
	北陸	16	99	0.0	0.0	96.8	3.2
	東海	25	206	0.3	1.9	82.6	15.3
	近畿	19	303	0.0	20.8	64.8	14.4
	中国	11	162	0.0	7.1	92.8	0.1
	四国	2	80	0.0	0.0	100.0	0.0
	九州・沖縄	20	178	0.0	1.4	70.5	28.1

※「枝肉」は部分肉ベース(歩留率 70%)で換算して算出。

### 3. 豚肉仕入構成と仕入量(平成 20 年 10 月分)

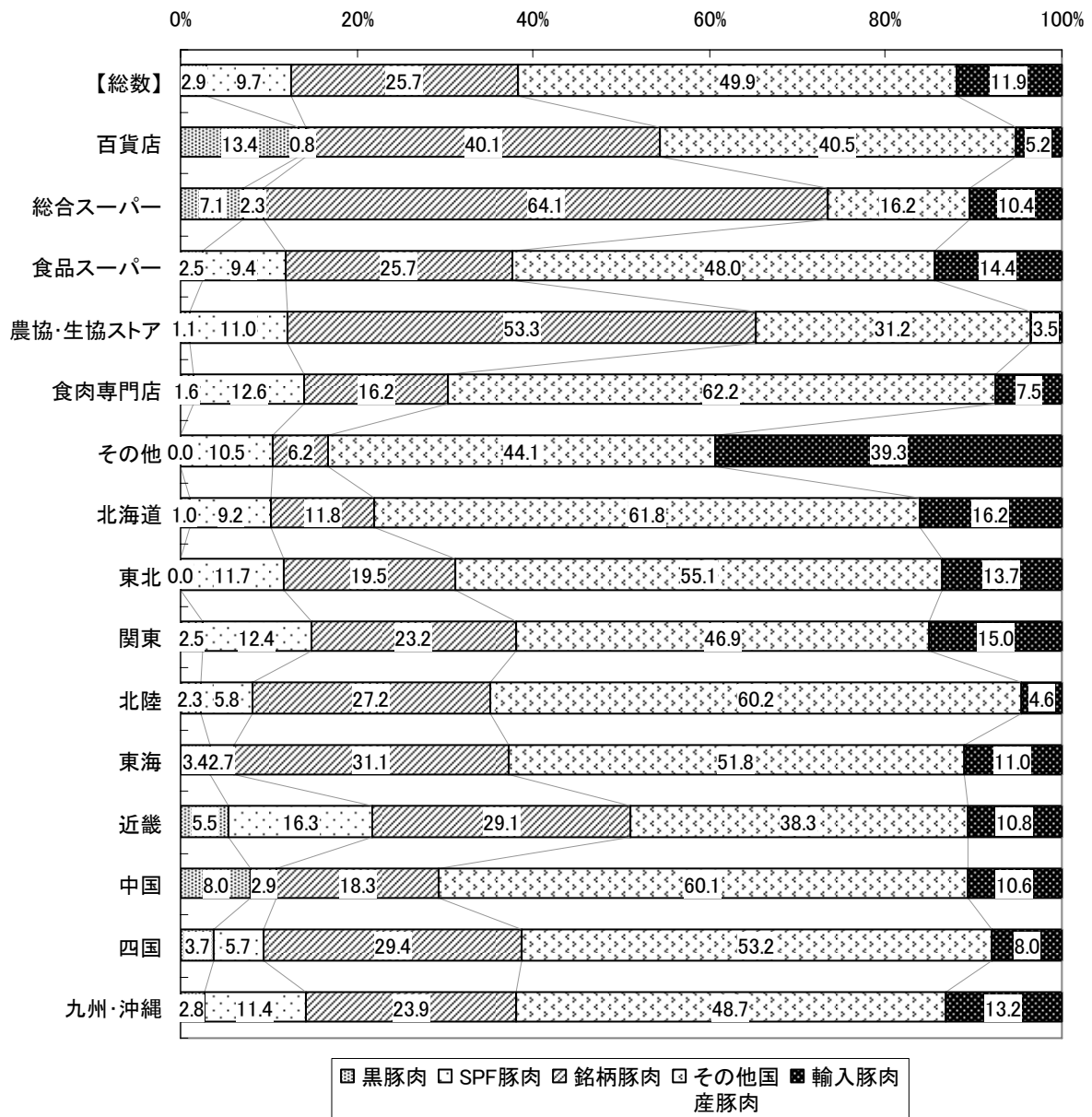
#### 3. 1. 豚肉の仕入構成

- 豚肉の仕入構成は「**その他国産豚肉**」が 49.9%、それ以外の国産豚肉が 38.2%、「**輸入豚肉**」が 11.9%  
豚肉の平均仕入量は 1,141kg で、その半分にあたる 49.9%は「**その他国産豚肉**」である。次いで仕入量が多いのは「**銘柄豚肉**」の 25.7%である。これらに「**黒豚肉**」と「**SPF 豚肉**」を含めた国産豚肉全体では 78.1%となり、残りの 11.9%が「**輸入豚肉**」である。
- 「**食品スーパー**」の仕入量が最も多く 2,199kg で、「**輸入豚肉**」の構成比が高い  
業態別では、「**食品スーパー**」の仕入量が最も多く 2,199kg で、次いで「**百貨店**」の 1,742kg となっている。「**食品スーパー**」では、他業態に比べ「**輸入豚肉**」の仕入比率が若干高く、全体平均 11.9%に対して 14.4%となっている。
- 全体的に東日本での仕入量が多い、最も多いのは「**東海**」の 1,958kg  
地域別では、西日本に比べ東日本における仕入量が多く、「**東海**」以東のエリアでは全て 1,000kg 以上、「**近畿**」以西では 1,000kg 以下となっている。  
最も仕入量が多いのは「**東海**」の 1,958kg で突出している。次いで、「**関東**」の 1,198kg、「**北陸**」の 1,062kg となっている。

表 3-11 豚肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答 店舗数	仕入量 /店(kg)	黒豚肉	SPF豚肉	銘柄豚肉	その他国 産豚肉	輸入豚肉	
<b>【総数】</b>	453	1,141	2.9	9.7	25.7	49.9	11.9	
<b>業態別</b>	百貨店	14	1,742	13.4	0.8	40.1	40.5	5.2
	総合スーパー	10	1,525	7.1	2.3	64.1	16.2	10.4
	食品スーパー	148	2,199	2.5	9.4	25.7	48.0	14.4
	農協・生協ストア	16	858	1.1	11.0	53.3	31.2	3.5
	食肉専門店	257	526	1.6	12.6	16.2	62.2	7.5
	その他	8	334	0.0	10.5	6.2	44.1	39.3
<b>地域別</b>	北海道	21	1,075	1.0	9.2	11.8	61.8	16.2
	東北	42	1,050	0.0	11.7	19.5	55.1	13.7
	関東	133	1,198	2.5	12.4	23.2	46.9	15.0
	北陸	54	1,062	2.3	5.8	27.2	60.2	4.6
	東海	47	1,958	3.4	2.7	31.1	51.8	11.0
	近畿	52	972	5.5	16.3	29.1	38.3	10.8
	中国	26	908	8.0	2.9	18.3	60.1	10.6
	四国	8	571	3.7	5.7	29.4	53.2	8.0
九州・沖縄	44	944	2.8	11.4	23.9	48.7	13.2	

図 3-12 豚肉の品種別仕入構成



● 「銘柄豚肉」の仕入構成比が昨年調査より 5.7 ポイント増加

昨年調査と比較すると、「銘柄豚肉」の仕入比率が 20.0%から 25.7%へ 5.7 ポイント増加している。特に、「総合スーパー」における仕入構成が急伸しており、平成 18 年調査では 14.9%だったのが、昨年調査では 33.2%、今回の調査では 64.1%となっている。「百貨店」でも「銘柄豚肉」の仕入構成が上がっている。

(次頁の「図 3-13」と「表 3-12」を参照)

図 3-13 豚肉の肉種別仕入構成推移

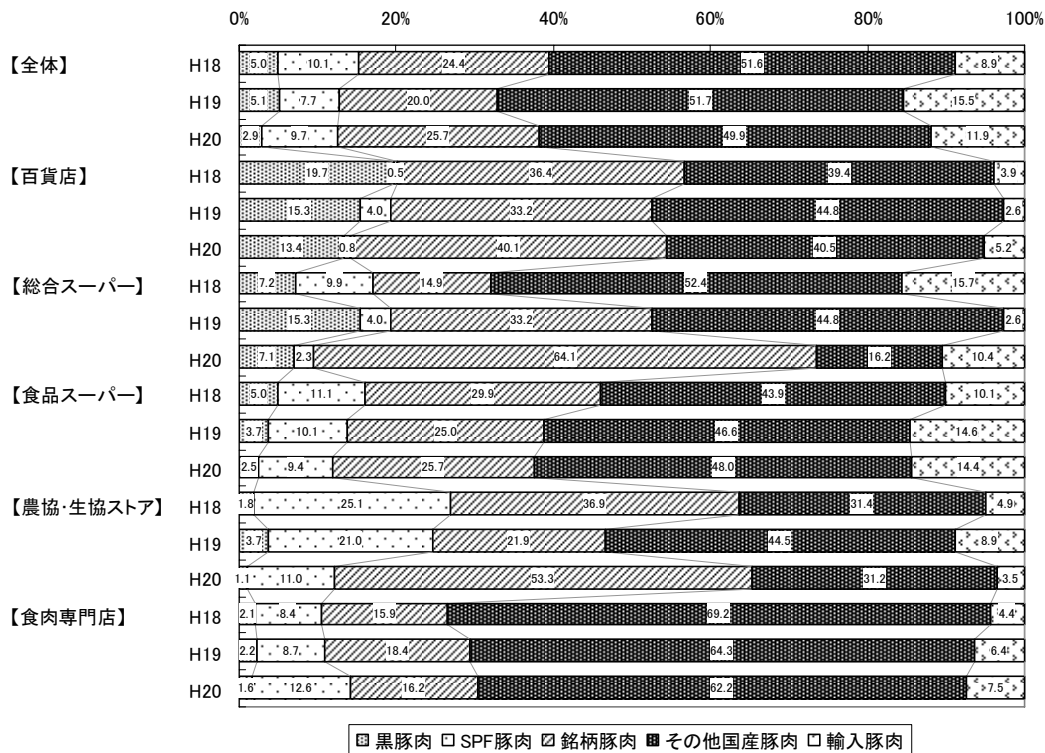


表 3-12 豚肉の商品別仕入構成推移(平成 20 年 10 月)

業態別	回答店舗数	1店当り仕入量(kg)	黒豚肉	SPF豚肉	銘柄豚肉	その他国産豚肉	輸入豚肉	
【全体】	H18	571	1,793	5.0	10.1	24.4	51.6	8.9
	H19	677	1,998	5.1	7.7	20.0	51.7	15.5
	H20	453	1,141	2.9	9.7	25.7	49.9	11.9
【百貨店】	H18	28	1,420	19.7	0.5	36.4	39.4	3.9
	H19	48	1,692	15.3	4.0	33.2	44.8	2.6
	H20	14	1,742	13.4	0.8	40.1	40.5	5.2
【総合スーパー】	H18	49	2,928	7.2	9.9	14.9	52.4	15.7
	H19	48	1,692	15.3	4.0	33.2	44.8	2.6
	H20	10	1,525	7.1	2.3	64.1	16.2	10.4
【食品スーパー】	H18	159	3,358	5.0	11.1	29.9	43.9	10.1
	H19	193	2,833	3.7	10.1	25.0	46.6	14.6
	H20	148	2,199	2.5	9.4	25.7	48.0	14.4
【農協・生協ストア】	H18	19	1,320	1.8	25.1	36.9	31.4	4.9
	H19	43	1,388	3.7	21.0	21.9	44.5	8.9
	H20	16	858	1.1	11.0	53.3	31.2	3.5
【食肉専門店】	H18	316	891	2.1	8.4	15.9	69.2	4.4
	H19	332	798	2.2	8.7	18.4	64.3	6.4
	H20	257	526	1.6	12.6	16.2	62.2	7.5
【その他】	H18	-	-	-	-	-	-	-
	H19	-	-	-	-	-	-	-
	H20	8	334	0.0	10.5	6.2	44.1	39.3



### 3. 2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

商品別の平均仕入量は、当該商品の仕入実績のある店における仕入量の平均で算出している。「表 3-11 豚肉の品種別仕入構成」は、豚肉の仕入実績のある店における仕入量平均であるため、本章の算出結果とは一致しない。

#### 3. 2. 1. 黒豚肉

● 「黒豚肉」の平均仕入量は 162kg、「部分肉セット」45.4%、「部分肉パーツ」34.1%

「黒豚肉」の平均仕入量は 162kg、業態別では「百貨店」の仕入量が最も多く 328kg、次いで「総合スーパー」の 216kg、「食品スーパー」の 159kg となっている。

形態別仕入構成は、「部分肉セット」が 45.4%、「部分肉パーツ」が 34.1%である。

図 3-14 黒豚肉の形態別仕入量構成比

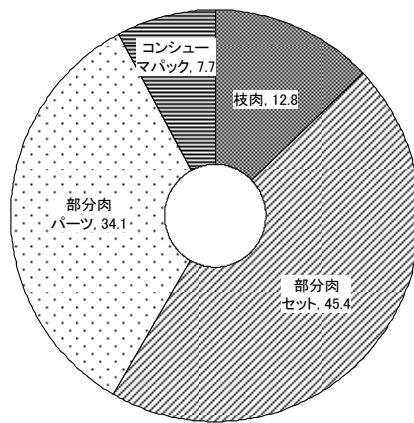


表 3-13 黒豚肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量/店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	91	162	12.8	45.4	34.1	7.7	
業態別	百貨店	10	328	18.2	61.5	20.3	0.0
	総合スーパー	5	216	0.0	100.0	0.0	0.0
	食品スーパー	51	159	11.0	38.7	36.5	13.8
	農協・生協ストア	3	48	61.1	38.9	0.0	0.0
	食肉専門店	22	96	16.1	17.4	66.5	0.0
	その他	0	0	-	-	-	-
	北海道	4	59	0.0	73.7	5.1	21.2
地域別	東北	0	0	-	-	-	-
	関東	27	146	8.3	58.3	23.7	9.7
	北陸	12	109	7.4	29.8	62.8	0.0
	東海	10	311	19.5	42.8	27.1	10.5
	近畿	12	234	21.6	42.0	22.8	13.6
	中国	10	190	10.3	34.4	55.3	0.0
	四国	2	85	0.0	82.4	17.6	0.0
	九州・沖縄	12	96	7.5	35.7	56.7	0.0

### 3. 2. 2. SPF 豚肉

- 「SPF 豚肉」の平均仕入量は 610kg、「部分肉セット」が 47.0%で約半数を占める

「SPF 豚肉」の平均仕入量は 610kg、業態別では「食品スーパー」が 1,181kg と突出している。

地域別では、「東北」の仕入量が 1,293kg で最も多く、次いで「近畿」824kg、「関東」708kg、「北海道」520kg となっている。

形態別では、「部分肉セット」が 47.0%で約半数を占めている。

図 3-15 SPF 豚肉の形態別仕入量構成比

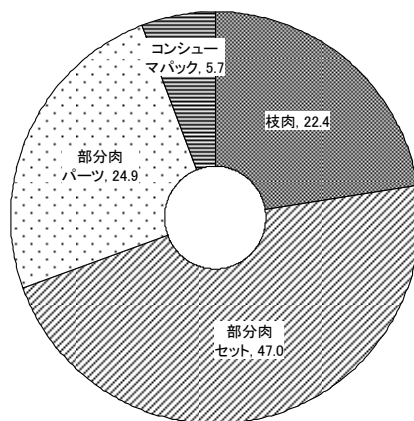


表 3-14 SPF 豚肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量 /店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	82	610	22.4	47.0	24.9	5.7	
業態別	百貨店	2	100	41.2	58.8	0.0	0.0
	総合スーパー	2	175	0.0	85.7	14.3	0.0
	食品スーパー	26	1,181	12.8	57.1	21.1	9.0
	農協・生協ストア	4	377	14.8	10.6	74.6	0.0
	食肉専門店	47	361	43.2	28.1	28.6	0.0
	その他	1	280	0.0	100.0	0.0	0.0
地域別	北海道	4	520	0.0	84.2	15.8	0.0
	東北	4	1,293	2.0	95.3	2.6	0.0
	関東	28	708	18.2	65.5	16.3	0.0
	北陸	8	415	28.1	14.5	57.4	0.0
	東海	5	496	43.5	0.0	56.5	0.0
	近畿	10	824	10.0	7.4	49.8	32.9
	中国	4	174	41.5	0.0	58.5	0.0
	四国	1	260	0.0	80.8	19.2	0.0
九州・沖縄	12	394	56.7	21.1	19.6	2.6	

### 3. 2. 3. 銘柄豚肉

● 「銘柄豚肉」の平均仕入量は 804kg、「総合スーパー」での仕入が多い

「銘柄豚肉」の平均仕入量は 804kg、業態別では「総合スーパー」での仕入れが 1,954kg と最も多く、「食品スーパー」も 1,132kg と多い。

形態別では、「部分肉セット」が 45.1%、「部分肉パーツ」が 29.7%、「枝肉」が 22.6%となっている。

図 3-16 銘柄豚肉の形態別仕入量構成比

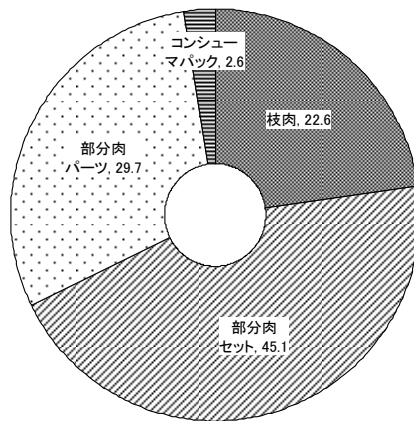


表 3-15 銘柄豚肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量 /店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	165	804	22.6	45.1	29.7	2.6	
業態別	百貨店	10	978	10.1	66.4	23.6	0.0
	総合スーパー	5	1,954	0.0	75.9	24.1	0.0
	食品スーパー	74	1,132	21.9	43.1	32.4	2.5
	農協・生協ストア	8	913	15.3	61.6	7.2	16.0
	食肉専門店	65	337	40.7	28.2	31.1	0.0
	その他	3	55	0.0	0.0	100.0	0.0
地域別	北海道	5	531	43.9	9.9	46.3	0.0
	東北	13	662	4.1	67.9	19.7	8.3
	関東	45	822	20.1	57.6	22.3	0.0
	北陸	21	742	18.2	42.2	36.8	2.8
	東海	25	1,146	24.5	41.9	32.5	1.1
	近畿	23	641	23.9	39.0	24.9	12.3
	中国	6	721	0.0	33.5	66.5	0.0
	四国	4	335	5.3	30.5	64.1	0.0
九州・沖縄	16	621	3.5	46.4	50.2	0.0	

### 3. 2. 4. その他国産豚肉

● 「その他国産豚肉」の平均仕入量は 402kg、「部分肉パーツ」が 53.5%と高い

「その他国産豚肉」の平均仕入量は 402kg で、業態別では「食品スーパー」が 709kg、「百貨店」449kg、「食肉専門店」245kg の順となっている。

地域で見ると、「東海」が最も多く 1,254kg で、次いで「北海道」の 820kg である。

形態別では、「部分肉パーツ」が 53.5%、「部分肉セット」28.4%、「枝肉」15.2%となっている。

図 3-17 その他国産豚肉の形態別仕入量構成比

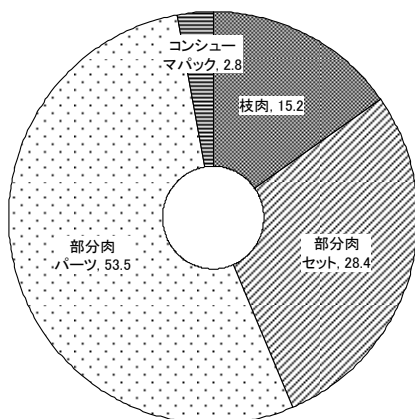


表 3-16 その他国産豚肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量 /店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	339	402	15.2	28.4	53.5	2.8	
業態別	百貨店	10	449	0.0	50.6	49.4	0.0
	総合スーパー	6	164	0.0	53.6	46.4	0.0
	食品スーパー	115	709	8.3	28.6	59.7	3.5
	農協・生協ストア	11	153	0.0	36.8	39.4	23.8
	食肉専門店	191	245	33.1	23.9	42.3	0.7
	その他	6	91	0.0	9.7	83.2	7.1
地域別	北海道	17	820	14.0	21.8	64.2	0.0
	東北	37	657	3.8	35.1	59.3	1.8
	関東	94	795	22.4	40.4	33.5	3.7
	北陸	46	751	7.7	40.1	49.4	2.9
	東海	38	1,254	29.4	18.8	49.3	2.5
	近畿	30	645	1.0	8.9	82.5	7.6
	中国	19	747	8.0	1.7	89.4	0.9
	四国	5	486	5.0	75.0	20.0	0.0
九州・沖縄	36	562	4.6	14.0	80.9	0.5	

### 3. 2. 5. 輸入豚肉

● 「輸入豚肉」の平均仕入量は 417kg、仕入形態は「部分肉パーツ」が中心

「輸入豚肉」の平均仕入量は 417kg で、業態別では「食品スーパー」が 557kg で比較的多い(「百貨店」は 1,258kg で最も多いがサンプル数が 1 件なので除外して考察した)。

地域別では、特に目立って仕入量が多い地域はなく比較的バラツキが小さい。

形態別では、「部分肉パーツ」が 80.4%を占めている。

図 3-18 輸入豚肉の形態別仕入量構成比

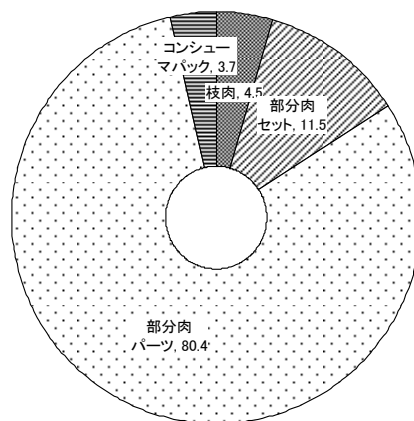


表 3-17 輸入豚肉の形態別仕入構成比と仕入量

	回答店舗数	仕入量 /店(kg)	形態別仕入量構成比				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
【総数】	147	417	4.5	11.5	80.4	3.7	
業態別	百貨店	1	1,258	0.0	0.0	100.0	0.0
	総合スーパー	5	317	0.0	0.0	100.0	0.0
	食品スーパー	84	557	5.7	13.4	76.5	4.4
	農協・生協ストア	3	160	0.0	0.0	100.0	0.0
	食肉専門店	52	195	0.0	6.7	91.7	1.7
	その他	2	525	0.0	0.0	100.0	0.0
地域別	北海道	9	406	0.0	0.0	92.3	7.7
	東北	21	287	0.0	36.8	63.2	0.0
	関東	43	555	11.7	15.5	64.7	8.1
	北陸	14	188	2.2	0.0	97.8	0.0
	東海	17	596	0.0	0.0	100.0	0.0
	近畿	9	604	0.0	14.7	85.3	0.0
	中国	7	357	0.0	3.6	96.4	0.0
	四国	3	122	0.0	0.0	100.0	0.0
九州・沖縄	17	324	0.0	1.3	96.8	1.9	

#### 4. 鶏肉仕入構成と仕入量(平成 20 年 10 月分)

##### 4. 1. 鶏肉の仕入構成

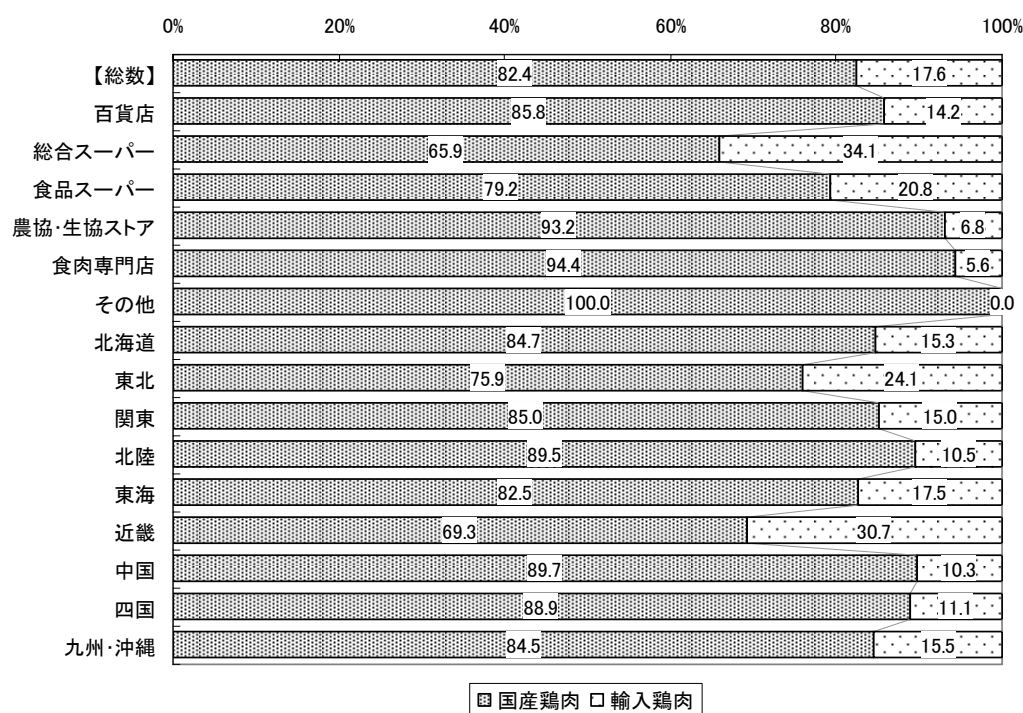
- 鶏肉の平均仕入量は 895kg、国産鶏肉が 82.4%、輸入鶏肉が 17.6%

鶏肉の平均仕入量は 895kg で、業態別では「食品スーパー」1,604kg、「百貨店」1,038kg の順に多い。国産鶏肉の占める割合は 82.4% で、輸入鶏肉が 17.6% となっている。

表 3-18 「鶏肉」の品種別仕入構成比と仕入量

		回答 店舗数	仕入量 /店(kg)	国産鶏肉	輸入鶏肉
【総数】		169	895	82.4	17.6
業態別	百貨店	6	1,038	85.8	14.2
	総合スーパー	4	835	65.9	34.1
	食品スーパー	67	1,604	79.2	20.8
	農協・生協ストア	9	326	93.2	6.8
	食肉専門店	80	388	94.4	5.6
	その他	3	57	100.0	0.0
地域別	北海道	12	989	84.7	15.3
	東北	20	995	75.9	24.1
	関東	50	611	85.0	15.0
	北陸	23	598	89.5	10.5
	東海	19	1,514	82.5	17.5
	近畿	11	1,255	69.3	30.7
	中国	8	1,030	89.7	10.3
	四国	3	620	88.9	11.1
	九州・沖縄	17	1,239	84.5	15.5

図 3-19 「鶏肉」の品種別仕入構成比(平成 20 年 10 月)



昨年調査の平均仕入量は 1,215kg なので 320kg 減少している。

業種別では「総合スーパー」における減少幅が 1,851kg と大きいですが、サンプル数が小さいため、特定の回答に影響を受けている可能性がある。

表 3-19 「鶏肉」の品種別仕入構成推移

業態別	回答 店舗数	1店当り 仕入量(kg)	国産鶏肉	輸入鶏肉	
【全体】	H20	169	895	82.4	17.6
	H19	273	1,215	95.7	4.3
	H18	209	1,181	89.0	11.0
【百貨店】	H20	6	1,038	85.8	14.2
	H19	24	1,268	100.0	-
	H18	12	1,338	99.7	0.3
【総合スーパー】	H20	4	835	65.9	34.1
	H19	29	2,686	94.7	5.3
	H18	18	2,875	87.8	12.2
【食品スーパー】	H20	67	1,604	79.2	20.8
	H19	86	1,807	96.4	3.6
	H18	56	2,445	88.8	11.2
【農協・生協ストア】	H20	9	326	93.2	6.8
	H19	22	990	99.7	0.3
	H18	4	1,533	98.8	1.2
【食肉専門店】	H20	80	388	94.4	5.6
	H19	112	414	90.6	9.4
	H18	119	303	85.1	14.9
【その他】	H20	3	57	100.0	0.0
	H19	-	-	-	-
	H18	-	-	-	-

## 5. 食肉仕入時の重視項目

### 5. 1. 品種別食肉仕入の重視項目

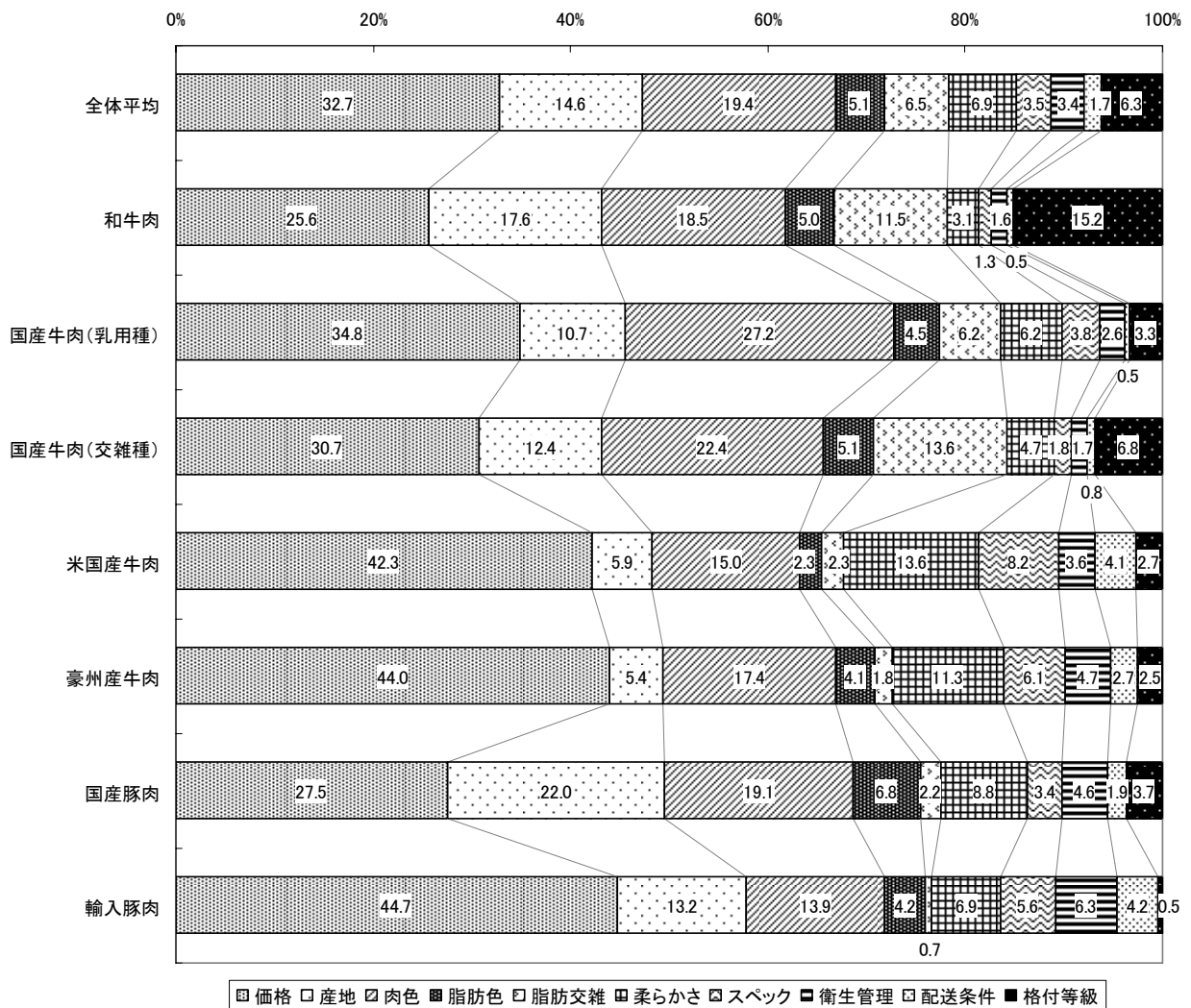
● 全体的傾向としては「価格」、「肉色」、「産地」の順で重視されている

食肉仕入時に重視する項目として、全体では「価格」を重視する意見が最も多く 32.7%、次いで「肉色」の 19.4%、「産地」の 14.6%となっている。

「和牛肉」では、「価格」、「肉色」、「産地」と同じ割合で「格付等級」が挙げられているのが特徴的である。

輸入肉の場合「価格」を重視する傾向がより強く、「米国産牛肉」では 42.3%、「豪州産牛肉」は 44.0%、「輸入豚肉」では 44.7%が「価格」を選択している。

図 3-20 品種別食肉仕入れの重視項目





## 5. 2. 業態別の食肉仕入の重視項目

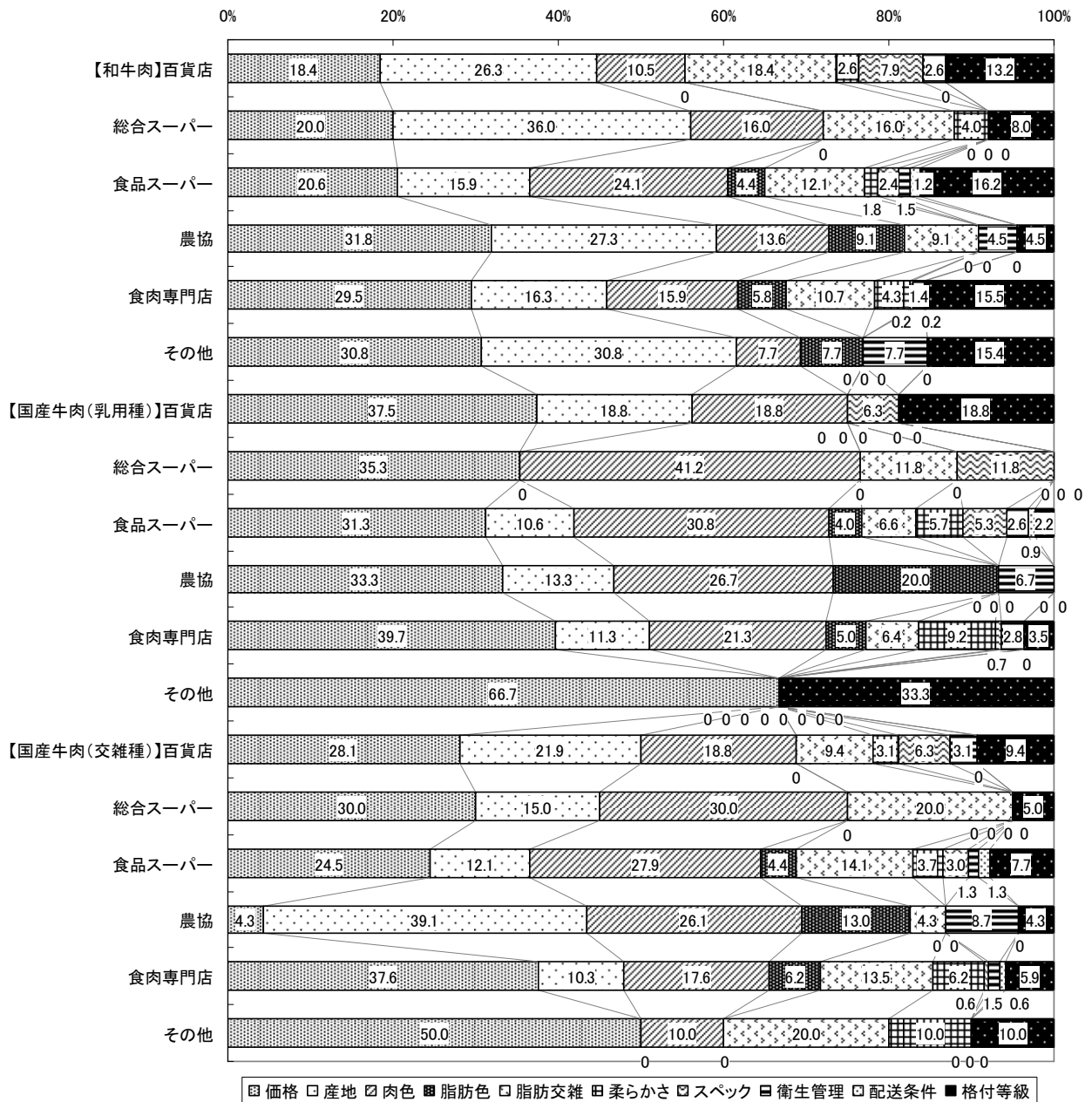
### 5. 2. 1. 国産牛肉

#### ● 「百貨店」は「産地」を重視する傾向

「百貨店」は「和牛肉」仕入れの際に、「産地」を重視しており、次いで「価格」、「脂肪交雑」となっている。「百貨店」は、他の国産牛肉を仕入れる際にも「産地」を重視する傾向が見られる。

それ以外では、業態による仕入れの重視項目に明確な傾向は見られない。

図 3-21 肉種別・業態別食肉仕入れの重視項目(国産牛肉)

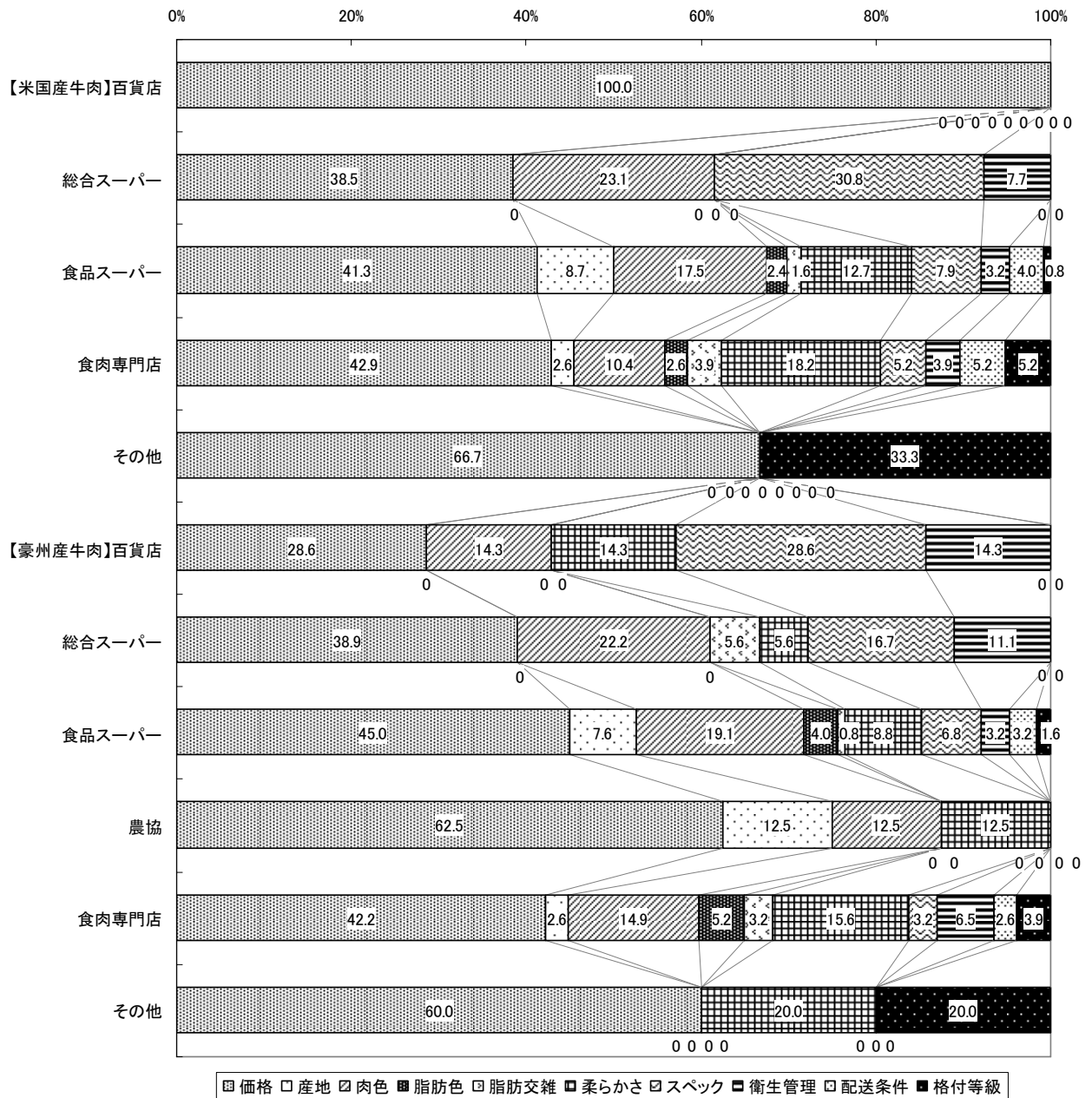


## 5. 2. 2. 輸入牛肉

### ● 「輸入牛肉」は「価格」を重視

「輸入牛肉」に対しては、各業態とも「価格」を重視している。次いで「肉色」が重視されている。

図 3-22 肉種別・業態別食肉仕入れの重視項目(輸入牛肉)



### 5. 2. 3. 豚肉

● 「国産豚肉」は「価格」と「産地」、「輸入豚肉」はより「価格」を重視

「国産豚肉」に対しては、「価格」と「産地」が同程度重視されている。「輸入豚肉」は、「国産豚肉」以上に「価格」が重視されている。

図 3-23 肉種別・業態別食肉仕入れの重視項目(豚肉)

